

《問い合わせ先》

第十一管区海上保安本部 海洋情報監視課

課長 木村 琢磨

098-867-0118 (内線2510)



第十一管区海上保安本部
平成26年6月26日

世界初！航行警報等の視覚化による情報提供開始

海上保安庁では、利用者が航行安全情報をさらに利用しやすくするため、世界に先駆けて、インターネット上で提供している水路通報及び航行警報の有効期間や区域を視覚化しました。

第十一管区海上保安本部が提供している十一管区水路通報や地域航行警報についても視覚化し、より安全な航海に寄与いたします。

提供開始日 平成26年6月18日(水)

画面イメージ 文字情報から視覚化へ

地域航行警報

漂流物
十一管区地域航行警報 番号84 6月19日 1700 発表
南西諸島、沖縄群島、久米島南方
軽便船(長さ約7m)が漂流しています。
19日1520現在の位置は
北緯26度00.9分、東経126度35.4分
付近です。

管区水路通報

第11管区 2014年464頂 南西諸島 - 沖縄島南東方 射撃訓練実施
沖縄島南東方において、航空自衛隊による空対空射撃訓練が実施される。
平成26年6月1日～30日(日曜日を除く)(0700-1800)
区域 下記7地点で囲まれる区域(洋軍演習区域「マイク・マイク訓練区域」)
(1) 25-41-15N 129-51-53E
(2) 25-48-37N 129-02-19E
(3) 25-44-15N 130-05-52E
(4) 25-44-15N 130-10-52E
(5) 25-43-24N 130-35-52E
(6) 25-41-15N 130-44-52E
(7) 24-52-15N 130-03-52E
備考 訓練は船舶等が存在しないことを確認しながら実施される。
発令所 防衛省航空幕僚部
W210
掲載日 平成26年5月18日



拡大・縮小も自由自在

危険な海域も一目瞭然

図示をクリックするとテキストで掲載

必要な情報を選択可能

【背景】

「3・11」東日本大震災では、地震津波により多数の航路標識が倒壊、流出、大量の漂流物が発生したため、膨大な数の航行警報が発出されました。

利用者にとっては、文字により発せられた航行警報の位置や範囲を海図に転記する作業が煩雑となり、重要な情報を見落としてしまうケースも懸念されました。

このため、毎日更新した航行警報をインターネットで図示して提供したところ、利用者から「分かりやすい」「利用しやすい」と好評を得ました。

海上保安庁では、この経験を活かし航海安全情報をインターネット上にビジュアル掲載するシステムを構築し、日本が世界に先駆けて提供を開始するものです。

【利便性】

ビジュアル化により危険箇所の把握が容易

位置確認のための海図転記作業が少なくなることによる誤認防止

複数の情報の中から期間を指定することにより、その間の有効な情報の表示が可能

自船の位置を入力することにより、危険海域内外の把握が一目瞭然

利用者が個々に必要とする範囲の拡大・縮小が可能、さらに印刷も可能

針路上において、予め危険海域を把握でき、自船に必要な情報だけを手

【インターネットでの利用方法】

利用環境：インターネットエクスプローラーのバージョン9以上が必要

検索方法：第十一管区海上保安本部のホームページの海洋情報（「沖縄の海洋情報」で検索） 航行安全情報の下にある**ビジュアル情報**をクリック

または、海上保安庁ホームページのトップ画面 海の安全・基礎知識の下にある**航行警報**をクリック **ビジュアル情報**をクリック

【航海安全情報の種類と概要】

太字は、当管区が提供している情報

水路通報

航路標識の変更などの海図を最新維持するために必要な情報や海上作業などの一時的な情報を提供

種類	対象海域	提供方法
水路通報(本庁)	太平洋、インド洋及び周辺海域	インターネット
管区水路通報	管区海上保安本部の担任水域とその付近	インターネット

航行警報

緊急に知らせる必要のある灯台の消灯、航行の障害となる漂流物、ふくそう海域における長大物の曳航、海上演習等の情報を提供

種類	対象海域	提供方法
日本航行警報	太平洋、インド洋及び周辺海域	インターネット、無線ファックス
NAVAREA XI 航行警報	大洋を航行する船舶	インマルサット衛星を介した無線電信、インターネット
NAVTEX 航行警報	岸距約300海里以内の沿岸海域を航行する船舶	無線電信、インターネット
地域航行警報	港及びその付近を航行する船舶	無線電話、インターネット